

附属機関等の会議開催の概要  
(書面開催)

(令和4年6月 日)

附属機関等の名称	郡山市国民健康保険運営協議会 (令和3年度第4回郡山市国民健康保険運営協議会)		
会議開催日 (書面開催期間)	令和4年3月29日(火) ～4月6日(水)	会議時間	
会議場所		公開の区分	
傍聴定員		傍聴者の 決定方法	
傍聴の状況			
議 題	郡山市国民健康保険税率等の課題への対応と今後の方針について		
議 事 の 概 要			
委員	別紙「令和3年度 第4回郡山市国民健康保険運営協議会 書面開催 結果報告」のとおり		
次回開催予定	令和4年5月	公開の区分	公開(予定)
担当所属及び連絡先	市民部 国民健康保険課 管理係 (電話:024-924-2146)		

(別紙)

## 令和3年度 第4回郡山市国民健康保険運営協議会

### 書面開催 結果報告

#### 書面開催期間

令和4年3月29日(火)～4月6日(水)

#### 委員

<全17名>

- ・被保険者代表(5名)  
阿部 澄子委員、加藤 ヨシ子委員、志田 タリ子委員、日比野 富男委員、柳沼 久子委員
- ・保険医又は保険薬剤師代表(5名)  
土屋 繁之委員、原 寿夫委員、坪井 永保委員、渡邊 洋二郎委員、志岐 由利子委員
- ・公益代表(5名)  
奥秋 和夫委員、慶徳 孝一委員、國分 美紀子委員、近藤 幸夫委員、佐藤 知恵子委員
- ・被用者保険等保険者代表(2名)  
遠藤 隆男委員、近藤 哲委員

#### 議題

郡山市国民健康保険税率等の課題への対応と今後の方針について

## 令和3年度 第4回郡山市国民健康保険運営協議会

### 書面開催 結果報告

#### 【収納率関係】

質問及び回答
(1) 国保税納付の口座振替原則化について
・滞納者の削減は大変人手と労力がかかります。国保加入時の届書に銀行振り込み口座の項目を記載し、必ず書いてもらうように郡山市のルールとして適用することにはいかがでしょうか。
・国保税の納付について第3回運営協議会の報告に記載されていますが、法的根拠がなく強制力のない規定であっても、原則口座振替にした方が、徴収率が上がるのではないのでしょうか。少なくとも「納付忘れ」は少なくなるのではないのでしょうか。
・口座振替の利用率を高めるためにマスキングシール方式で行い、1/2移行4.30%くらいまで収納率が改善する事を期待しますが、ある程度の利用率に達すると、それ以上に利用率が高まらなくなるため、口座振替を基本的に義務化することについても検討してみたいはいかがでしょうか。

「国保税納付原則口座振替」につきましては、他市で行っている収納率向上のための取組みを調査する中で本市においても検討をいたしました。

令和2年度の他市における中核市照会の取りまとめ結果によりますと、中核市 60 市中、「国保税納付原則口座振替」を実施しているのが、44%の 26 市となっております。

その多くが「国民健康保険税の普通徴収にかかる納付方法に関する規則」等を制定して実施しておりますが、これは法的根拠のない規則であるため、納税義務者が口座振替以外の納付方法を希望する場合はそれを認めるという、強制力のない規定となっております。

本市といたしましては、口座振替の原則化を図る前に、現在の枠組みの中において、まだ行える勧奨策があるのではないかと結論にいたり、本年3月15日より国民健康保険の加入や国民健康保険税の納付を取り扱う窓口（国民健康保険課、国保税収納課、収納課、市民課、各行政センター・連絡所、各市民サービスセンター）において、利便性の高い「はがきタイプの口座振替依頼書」等を使用した納税義務者に対する国保税の口座振替勧奨を開始したところです。

今後、この窓口における勧奨の効果を見極めながら、その状況に応じて「国保税納付原則口座振替」についても検討をしていきたいと考えております。

## 令和3年度 第4回郡山市国民健康保険運営協議会

## 書面開催 結果報告

## (2) 口座振替登録に対するインセンティブについて

・口座振替に切り替えるメリットやインセンティブが打ち出せば良いと思うが他の自治体では何か取り組みされた例はないのか？

令和2年度の他市の中核市照会によると、他市で行われている口座振替登録のインセンティブは主に以下の内容となっております。多くの自治体においては、最初の口座振替登録時がインセンティブの対象となっております。

項目	内容	実施自治体等
登録者への物品の進呈	自治体指定のごみ袋 口座振替啓発ボールペン 等	5市
登録者へ抽選による物品の進呈	お米券 友好都市産品 等	3市

本市においては、初めて口座振替を申込まれた方に郡山駅西口駐車場（市営）の駐車券を5枚進呈しております（5月～7月、11月～1月は口座振替キャンペーン期間として10枚進呈）。

## 意見

・やはり気になるのは、保険料の累積滞納額が他中核市と比べて本市はかなり多いということです。いろいろ対策は取られているようですが、自主納付の納税義務者に対して、納税方法の口座振替の勧奨を一層強化して改善されるようお願いします。

・国保財政を安定して維持していくために、収入の面では、保険料収納率の向上に向けた取り組み、支出の面では、医療費適正化に向けた取り組みの強化を更に進めるべきと考えます。

・収納率向上を考える上で、負担能力があるのに滞納を続ける者に対しては、きびしく対応すべき。

・国保税納付について口座振替の強化をなお一層すすめ、収納率向上につなげてほしいと思っております。

・収納率の向上は重要課題であり、まじめに納付されている方からすれば不公平感を抱きかねない。収納率の高い自治体の取り組みなどを参考に方策を検討すべきかと思う。

・口座振替の勧奨強化を行うべき。

・累積滞納額の削減推進に対し、賛成です。

## 令和3年度 第4回郡山市国民健康保険運営協議会

### 書面開催 結果報告

#### 【賦課割合関係】

意見
・ 賦課割合の見直しについては、国基準に段階的に近づけるとあるが、均等割が増えると低所得者の負担が厳しくなるので、十分に慎重に検討をお願いしたい。
・ 国保税率等について、県標準保険料率との差のある区分の段階的見直しについては、負担能力を考えて行うべきと考える。均等割や平等割に負担を求めるのではなく、所得割に比重を置く方が、現実的なのではないか。収納率の向上を考える上でも、負担能力を考えるべきであろう。
・ 賦課割合について県保険税統一に向けて被保険者の急激な負担増とならない施策の検討をお願いします。

#### 【特定健康診査等事業・医療費適正化関係】

意見
・ 特定健診受診率の向上を図って、少しでも医療費の増大を抑えるよう努力してほしい。
・ 医療機関を利用する本人及び家族の意識改革を変えないとこれからの医療費はどんどん増えるのではないかと不安になりました
・ 国保財政を安定して維持していくために、収入の面では、保険料収納率の向上に向けた取り組み、支出の面では、医療費適正化に向けた取り組みの強化を更に進めるべきと考えます。

#### 【一人当たり保険料関係】

意見
・ 算出された税率が減少し、1人当たりの保険料が減少したことは喜ばしいことではあるがまだまだ厳しい状況にあると思います。
・ 一人あたり保険料をみると、県の本算定に基づく保険料は仮算定より下がっていますが、令和3年度の郡山市の一人あたり保険料とかなり差があります。 他市町村の一人あたり保険料が県本算定に比較しそれほど増減がないとすれば、郡山市の税率も将来的には県本算定に基づく一人あたり保険料になるのもやむをえないと思います。急激な保険料の増加とならないよう、令和11年度の保険料統一にむけて徐々に保険料を見直すべきかと思っています。

(別紙)

## 令和3年度 第4回郡山市国民健康保険運営協議会

### 書面開催 結果報告

#### 【総論・その他・自由意見】

意見
・課題は多々ありますので、正確な現状分析とシミュレーションをもとにひとつひとつ考えて方向性をそして対応策を見出して行くことが重要だと思います。
・保険税という名称から、税金という意義、国民皆保険という意義を何らかの形で、もっと周知すべきでは？
・母子家庭、年金のみの高齢者世帯等に配慮した対応が望まれる。
・今後人口減社会、超高齢社会にあって一人あたりの保険料の増はやむを得ないとは思いますが県内統一料金への推移も含め順次広報等により周知を密に図って頂きたいと思います。(4月から成人年齢が18才からとなりましたが、国民皆保険、納税のあり方等、教育機関等で取り組む事もあっていいのかなと思いました。)